

第 7 回「まとめ」

主催者ふりかえり（KEPT）シート まとめ

【主催者】 7 人

（内訳）行政職員 3 人（磐田市 1 人、菊川市 2 人）
国際交流協会スタッフ 1 人（磐田国際交流協会 1 人）
県多文化共生課 1 人、県国際交流協会 2 人

●Keep（良かったこと、続けたいこと）

- ・開催するにあたって、目的を見失わず継続していきたい。
各関係者がそれぞれ努力して開かれている教室であるという意識を持ち続けること。
現場レベルでの意識を持つこと。（森優也：磐田市地域づくり応援課）
- ・地域日本語教室の社会的な意義。みんなで考えてもらったのがよかった。自分ごとになる。（川添裕子：磐田国際交流協会）
- ・講座全体を通して再確認できるよい機会であった。参加できなかった欠席した講座についても簡単に知る機会も提供できた。（和田路也：県多文化共生課）
- ・様々な価値観の方が営む地域日本語教室のリアルを知った。“多様な方々が作っている”という意識を持ち続けたい。（片山奈津実：県国際交流協会）

●Problem（気になったこと、課題と思ったこと）

- ・まだまだたくさんの課題や、やりたい事、やってみたい事があること。（森優也：磐田市地域づくり応援課）
- ・カリキュラムの見直し、両市共有できる時間があるとよかった？（川添裕子：磐田国際交流協会）
- ・特にない。（和田路也：県多文化共生課）
- ・今後、予算など現実的な課題を持つ教室が多い。指導者の意見を重く受けとめたい。（片山奈津実：県国際交流協会）

●Try（改善したいこと、チャレンジしたいこと）

- ・これからも継続して、日本語教室を開いていくこと。（森優也：磐田市地域づくり応援課）
- ・講座の中ででてきた「KPT」への対応が少しでも出来るように。（和田路也：県多文化共生課）